

国境の長いトンネルを抜けると

雪国であった。夜の底が白くな

った。信号所に汽車が止まった。

向側の座席から娘が立ってきて、

島村の前のガラス窓を落した。

川端康成

「雪国」

MEMO

川端康成の長編小説で、名作として名高い。長い年月をかけて最終的な完成に至った作品。